

大学等名：県立広島大学

テーマ：テーマⅠ（アクティブ・ラーニング）

取組概要 地域活動を組み込み、主として教室外で行う「行動型学修」と、学修者の知的能動性を揺り動かし深い学びを喚起する「参加型学修」を組み合わせた「能動的学修」を学士課程教育に計画的に導入して教育改革を進める全学的な取組である。これにより、幅広い教養と高度な専門性を備えた人材を育成し、生涯にわたり学び続ける自律的な学修者アクティブ・ラーナーの育成を目指す。

県立広島大学型 アクティブ・ラーニング

Campus Linkage Active Learning 【CLAL】

行動型学修

教室外

教室外での学びを取り入れる

- ・学生間交流
- ・地域との交流
- ・異文化交流

→ 各キャンパスに拠点
を置いた
地域活動



フィールドワーク
現場体験
インターンシップ
学修成果発表会

学生の主体性を育む能動的学修

- ・協働学修
- ・反転授業
- ・プロジェクト学修
- ・双方向授業

→ 学修意欲・自主性を
引き出す学びの
スタイル



参加型学修

教室内

知的能動性を揺り動かす

振り返り
プレゼンテーション
ディスカッション・ディベート
授業公開促進

学修支援

◇ 学修環境の整備
行動型学修実践支援

◇ 支え合いをリードする学生の育成
学修支援アドバイザー育成

◇ 教職員研修の充実
ファカルティ・ディベロッパー養成



教育改革の
STEP

教学マネジメント

体系的な学士課程
教育プログラム

教育方法の見直しと充実
授業方法の転換・改善

自己評価システム

生涯学び続ける自律的な学修者
【アクティブ・ラーナー】

	指標	H26年度 (実績値)	R1年度 (目標値)	R1年度 (実績値)
数値目標	アクティブ・ラーニングを受講する学生の割合*	100%	100%	100%
	ファカルティ・ディベロッパー養成	0人	30人	74人
	学修アドバイザー育成	0人	55人	100人

* 28年度以降の数値目標はアクティブ・ラーニングを再定義した上での値である

学長のリーダーシップの下、教育改革に取り組む。本学での学びに対する学生の満足度を高め、卒業生の活躍により地域への波及効果を狙う。

- ・教室外での学びを取り入れ、学修意欲・自主性を引き出す新たな教授法による授業外学修の充実を加速する。
- ・知識を活かせる人材の育成を目指して、真の問題発見力や課題解決力、論理的思考力を育む。

- ・FD・SD活動の充実により、教職員の意欲を向上させる。目標を共有し、教育の質的改善に全学的・組織的に継続して取り組む。

- ・学生同士が教え合うことで、学びを定着させる。